令和６（２０２４）年度版

農　大　だより

令和 6 年 6 月 28 日発行

愛知県立農業大学校

〒４４４－０８０２岡崎市美合町字並松１－２
Tel：0564-51-1601　 Fax：0564-51-4831
E-mail　noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/

CONTENTS

1　東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会
2　体育祭
3　専攻トピックス
4　トピックス
　外部評価委員会を開催
　合同就職相談会、就活セミナーを開催
　農業者育成支援研修・農福連携支援研修を開講
　オープンキャンパス(6 月)を開催
5　お知らせ
　オープンキャンパス(7 月・8 月)、令和 7 年度入学者選抜試験、
　あいち農業経営塾受講生募集

愛知県立農業大学校
公式HP

Instagram

X（旧 Twitter）

東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会

令和６年度東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会が、５月 30・31 日に滋賀県で開催されました。９府県すべての農業大学校が参加し、６つの各競技会場に分かれて２日間にわたる競技が行われました。

《　競技種目と会場、本校出場者数　》

① 野球　（近江八幡市立総合運動公園）１８名
② バドミントン　（サン・ビレッジ近江八幡）　１１名
③ 卓球　（近江八幡市立総合運動公園）　９名
④ テニス　（近江八幡市立総合運動公園）　－名
⑤ バスケットボール（近江八幡市立総合運動公園）１２名
⑥ バレーボール　（近江八幡市立総合運動公園）１２名

本校の学生たちは、この大会を目標に、昨年度よりも良い成績を残すため練習に打ち込んできましたが、日頃のクラブ活動の成果を遺憾なく発揮して、多くの種目で好成績を残すことができました。

また、競技とは別に交流会の場を用意していただき、レクリエーションを通して学生が交流を深め、会場各所でも交流の輪が広がっていました。

次回、令和７年度のスポーツ大会は、岐阜県で開催されます。

本校の競技結果

≪団体の部≫

順位	競技種目
優勝	野球、バレーボール バドミントン
準優勝	卓球

≪個人の部≫

順位	競技種目
優勝	バドミントン女子ダブルス
準優勝	バドミントン男子シングル 卓球女子シングル
3位	卓球女子ダブルス

学校行事

体　育　祭

本年度の体育祭は5月23日(木)、本校グラウンド(ソフトボール)、愛知県農協体育館(バレーボール、ドッジボール)を会場に、3種目・専攻別対抗の開催となりました。

試合は鉢物緑花木・作物、切花・果樹、酪農・豚鶏、露地野菜、施設野菜の5専攻編成で行いました。それぞれの選手は競技への参加意欲が高く、活気ある試合となりました。合同専攻チームでは専攻間の連携や競技参加者の調整を入念に行うなど、専攻の枠を越えた連帯や応援が行われました。

学生は主体的に体育祭の運営や競技へ参加し、マナーを守り農大生としての自覚をもって取り組むことができました。

【体育祭の総合成績結果】
1 位：施設野菜専攻
2 位：鉢物緑花木専攻・作物専攻
3 位：切花専攻・果樹専攻

開会式

ドッジボール

ソフトボール

バレーボール

専　攻　トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

（注）カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑化木	切　花	作　物	果　樹	露地野菜	施設野菜	酪　農	養豚・養鶏	計
１年	6(　0)	8(　2)	6(　1)	13(　3)	13(　4)	15(　2)	12(　6)	6(　6)	79(24)
２年	7(　2)	5(　1)	9(　2)	15(　5)	14(　7)	15(　3)	15(　6)	10(　3)	90(29)
計	13(　2)	13(　3)	15(　3)	28(　8)	27(11)	30(　5)	27(12)	16(　9)	169(53)

花き産出額全国１位の田原市を訪問！

鉢花・緑花木

２年生が校外学習で田原市のアジサイ生産者の温室を訪問し、経営主の方から直接、栽培技術や経営方針を教えていただきました。田原市渥美地区の鉢花農家は栽培技術などの情報共有率が高く、新規参入や後継者にとって良い環境であることや、「今後は後継者が減っていって空き温室が増えると想定されるので、この中から一人でも渥美に来てくれるとうれしい」と、経営主の方から話していただき、学生らは一時就職後でも就農できる道をイメージできた様子でした。

ミントの繁殖力って凄い…

切　花

農産加工演習の授業の一環として、農大産のハーブを使ったクッキーを作成しました。ハーブの多くは鉢物・緑花木専攻のものを使用しましたが、アップルミントは切花専攻のものを使いました。

ところでこのミント、意図して栽培しているものではなく、切花専攻の露地ほ場に勝手に生えているものだったりします。５年くらい前に栽培していたものが、いつの間にか野生化したようです。鎌で刈り取ろうがトラクターで耕耘して根ごとズタズタにしようがお構いなしに、毎年わさわさと生えてきます。今栽培している草花をも超える勢いです。どうしてこうなった…。まあ、学生の胃袋においしく収まったので良しとします。

農大で初めてのイチゴ狩り

12 月から６月中旬までイチゴの販売をしています。今年は学生の発案により専攻で初めて模擬的にイチゴ狩りにチャレンジしました。

学生は価格設定、宣伝・予約方法の確立、専攻内の学生による予行演習を行い、農大においてイチゴ狩りでの経営が可能か収支予測を立て、他専攻の学生をお客さん役として招待し本番に挑みました。当日お客さんはイチゴ狩りを楽しんでおり反応は上々でした。今回の内容の振り返りを行い、次年度の実施に繋げていきます。

トマト・メロンの先進農家を視察しました！

校外学習で田原市のトマト・メロン農家のほ場を視察しました。

トマトについては、かん水頻度や摘果・摘葉などの管理作業で意識していることなどについて説明がありました。また、防除が難しくなってきているコナジラミやアザミウマに対して、化学合成農薬のみに頼った防除ではなく、天敵農薬としてタバコカスミカメを活用しており、その扱い方や導入効果についての話を聞くことができました。

メロンについては、栽培開始から収穫までの一連のかん水管理や果実肥大を促進するための工夫などを聞くことができました。

また、視察先の農家が農大出身ということもあり、農大でのエピソードや在学中にやっておくべきことなどについても教えていただきました。

学生は栽培管理や、清掃が徹底されているハウスを視察し、貴重なお話を聞くことができて大変勉強になったようです！

田植えも終盤に！

化学肥料・化学農薬を使用しない栽培方法を実践しているほ場において、田植えを行いました。元肥には農大の鶏ふんを用いて栽培しており、学生たちが一生懸命にほ場へ散布していました。今後は米ぬかペレットを散布して抑草し、機械除草を取り入れながら丁寧にお米作りに励んでいきます。

Fruit tree
果 樹

農家で修業

６月から専攻の１年生１名がナシ農家でのインターンシップを開始しました。

当学生は本校卒業後にナシ農家としての就農を考えており、早い段階から現場の雰囲気を体験した方がよいと判断し、今回インターンシップを行うことになりました。まだ１年生で少し不安はありますが、農家と直接話をして技術を教えてもらい、今よりたくましくなって帰ってきてくれると思っています。また、意識が高まった学生が一人いると周りの学生にも影響を与えるので、専攻全体の雰囲気も良い方に向かって行くことを願っています。

Dairy Farming
酪 農

今年度初分娩

先日、ようやく今年度初めての分娩がありました。１年生にとっては入学後初めての分娩となり、しっかりと準備をして臨みました。当日は、分娩介助の方法などを一つ一つ学びながら行う予定でしたが、初めての分娩が逆子で少しイレギュラーな対応となりました。逆子ではあったものの安産で、子牛も元気よく育っています。

牛の妊娠期間は約 280 日です。4 月から 5 月に分娩するためには、7 月から 8 月の暑熱期に受胎する必要があります。暑熱対策等にもしっかりと取り組んで、来年度は 4 月から 5 月の分娩が増えるよう頑張っていきます。

Pig Farming Egg-laying Hen
養 豚　養 鶏

食鳥処理及び動物検疫について学習しました

校外学習で、食鳥処理場と動物検疫所に行ってきました。

食鳥処理場は、食品衛生対策が徹底しており、防疫服を着用し万全な衛生対策をした上、さらに食品への異物混入を防ぐためピアスや指輪を外しての見学でした。

また、動物検疫所では、海外からの伝染性疾病の侵入防止対策として、セントレアにおける動物検疫探知犬を活用した旅客に対する水際防疫の現場を見学しました。

衛生的な食鳥処理や親どりの販売戦略、厳格な海外からの家畜伝染病侵入対策などの学習を通じて、畜産を専攻する学生としての意識を高める機会となりました。

※　各専攻の様子は、農大のインスタグラム、X(旧ツイッター)で情報発信しています。

トピックス

令和6年度外部評価委員会を開催

６月３日（月）に、本校の令和５年度の取組実績及び令和６年度の取組計画について外部の有識者等に評価していただく「外部評価委員会」を開催しました。本校の中長期計画である「教育研修基本計画 2025」のめざす姿である愛知の農業を支える意欲ある多様な人材の確保・育成を進めるため、各委員からいただいた御意見や御助言を運営に反映し、教育や研修の向上に努めてまいります。

なお、評価結果については、本校ウェブページに掲載する予定です。

外部評価委員の皆様

龍谷大学農学部：淡路教授、本校同窓会：柴田会長、安城農林高校：竹内校長、農業生産法人㈱中甲：杉浦代表取締役社長、ＪＡ愛知中央会営農･くらし支援部：伴部長、中日新聞社事業局事業統括部地域貢献課：池口課長

第2回合同就職相談会、就活セミナーを開催

６月７日(金)、第２回合同就職相談会を県内外 18 社の参加を得て開催しました。当日は、恒川校長からの激励のあと、本校２年生 37 名が予め希望した各社のブースで説明を聞きました。相談会後、会社訪問や１日仕事体験などにエントリーする学生もありました。

また、６月 17 日(月)には、「就活リスタート」と題して、就職支援会社(株)インテルプレスから講師を招いて就活セミナーを開催し、本校２年生 28 名が参加しました。一般論ではなく実体験を用いて志望動機を説明する等具体的な事例を学びました。今後、希望者は面接対策・個別相談を受け、就活を進めます。

農業者育成支援研修を開講しました

5 月 24 日（金）に、令和 6 年度農業者育成支援研修の開講式を行いました。

本年度は、11 名の研修生で実施することとなりました。この研修は、就農時に必要となる基礎的な知識・技術を修得したい方を対象にしています。本校のほ場で週 3 日間実習を行い、春夏野菜のスイカ・メロン・キュウリ・ナス等、秋冬野菜のダイコン・キャベツ・ハクサイ・ニンジン等で、露地での慣行栽培を行います。また、計 18 回の講義も行います。

農福連携支援研修を開講しました

野菜栽培の基礎知識や、施設利用者の方へのわかりやすい伝え方などを習得し、福祉関係施設の栽培ほ場を円滑に運営できることを目的とした研修で、令和 2 年度から始まり 5 年目を迎えました。

本年度の研修生は 13 名で、5 月 24 日（金）に開講式を行い、来年 1 月 17 日（金）まで、実習と講義及び先進的な農福連携施設への視察を行います。

実習では、農大のほ場においてキュウリやナスなどの春夏野菜や、ハクサイやダイコンなどの秋冬野菜の栽培を行います。

講義では、病害虫防除や土づくりなど栽培の基礎知識のほか、わかりやすく教える手法、農福連携技術支援者概論など、農福連携を円滑にすすめるための手法も学びます。

施設での業務が忙しい皆さんがこの長期研修を受講されるのは、大変なことと思いますが、頑張って継続受講していただくことを期待しています。

オープンキャンパス（第 1 回・第 2 回）を開催しました

6 月 8 日（土）、22 日（土）にオープンキャンパスを開催し、合わせて 92 名の学生、保護者の参加がありました。

農大の概要説明や校内を巡るキャンパスツアーのほか、在校生も参加し、参加者からの質問に対して学生自らの経験やアドバイスを踏まえて回答していました。

参加者からは「在校生と話すことができ、生の声が聞けて良かった。」「実際に施設を見て回れたので、イメージがしやすかった。」、「学校の雰囲気が知れてよかった」など、非常に好評でした。

オープンキャンパスは、7 月に 1 回、8 月にも 2 回開催予定です。

お知らせ

オープンキャンパス

７月・８月に以下のとおり開催します。本校学生との交流の他、学生寮の食事も体験できますので、農大への入学に関心がある方はぜひご参加ください！

● 7月 30 日(火）
● 8月6日(火） ●8月 27 日(火）

※　各回とも午前９時 40 分～正午
※　事前に参加申し込みが必要です
※　食事体験は希望者のみで有料となります。
・詳細は本校ホームページを御覧ください。

お知らせ

令和7年度入学者選抜試験

●一般推薦入学試験

出願期間　9 月 30 日(月)～10 月 16 日(水)
試 験 日　11 月 1 日(金)
合格発表　11 月 13 日(水)
試験科目　小論文（800 字以内）面接試験
募集人員：定員 100 名のうち２／３程度

●一般入学一次試験

出願期間　11 月 12 日(火)～11 月 27 日(水)
試 験 日　12 月 10 日(火)
合格発表　12 月 19 日(木)
試験科目　数学Ⅰ、小論文(800 字以内)、面接試験
募集人員　定員 100 名の内、推薦入学合格者を除く数

※詳細は、本校ホームページを御覧ください。

お知らせ

令和6年度あいち農業経営塾　受講生募集中

経営発展のためのノウハウを学び、将来の経営ビジョンを実現しましょう！！

■対象者
愛知県内の専業農家で、経営の改善・発展を目指している方
■定員
２０名程度（応募者多数の場合は書類選考等を実施）
■受講料
２４，０００円
■開催期間
令和６年８月 28 日（水）～令和７年２月 14 日（金）全 12 回

■講座の内容
経営・財務・労務・マーケティング、トヨタ生産方式などの高度な経営ノウハウを習得できるよう、多彩な講師陣による講義を行います。また、経営計画の策定方法を学び、将来の経営ビジョンを明確にするとともに、その実現のためのスケジュールを立案します。
■申込方法
本校ウェブページから申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、FAX・電子メールのいずれかでお送りください。
■申込期限
７月 25 日（木）
■受講者の決定
８月８日（木）までに、応募者全員に受講可否を通知します。